

## 質問書に対する回答

件名) 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	技術提案 入札公告（説明書）	技術提案の評価項目「発進側立坑部地上ヤードにおける工事用車両の安全管理に関する留意点と対応策」において、「工事用車両」とは、支障物撤去、土留壁工、薬液注入工、中間杭・桟橋工、掘削工、山留工、グランドアンカーワーク、躯体工、シールド工等、すべての工種における工事用車両が対象となるのでしょうか。また、工事用車両入退場時における一般交通車両に対する交通事故防止対策等、第三者に対する安全管理も評価項目に含まれるのでしょうか。	技術提案の内容についてはお答えできませんので、貴社でご判断のうえ、提案してください。
2	発進立坑構築（框梁） 設計図面（発進立坑図） 閲覧資料（数量計算書）	発進立坑図127/181、137/181、第2編発進立坑函体工 数量計算書2-2-2-32によると、框梁の打設高さが3次掘削完了後となっていますが、支保工設置のための基礎コンクリートや側壁打継部の底面部の型枠については、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。 打継目処理は、コンクリート施工管理要領5-2に基づき、必要な費用を計上してください。 なお、ウォータージェット等による打継目処理について、監督員が必要と認めた場合は、別途協議となります。	支保工設置のための基礎コンクリートや側壁打継部の底面部の型枠については、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上してください。 打継目処理は、コンクリート施工管理要領5-2に基づき、必要な費用を計上してください。 なお、ウォータージェット等による打継目処理について、監督員が必要と認めた場合は、別途協議となります。
3	発進立坑構築（框梁） 設計図面（発進立坑図）	発進立坑図11/181によると、框梁ハンチ筋（M32-1）の機械式継手が1か所となっていますが、框梁の打段高さが梁下1.5mとなっていますので側壁側へもう1か所必要ではないでしょうか。ご教示願います。	設計図書のとおりお考えください。
4	発進立坑構築（框梁） 設計図面（発進立坑図） 閲覧資料（数量計算書） 単価表12	発進立坑図1/181、105/181、第2編 発進立坑函体工 数量計算書2-2-2-32によると、框梁施工時の鉛直方向の型枠が計上されていますが、ウォータージェット等における鉛直打継目処理については、単価表12のコンクリート（A1-3(D)）に含まれているのでしょうか。ご教示願います。	打継目処理は、コンクリート施工管理要領5-2に基づき、必要な費用を関連する単価項目に含めて計上してください。
5	高流動コンクリート 高流動モルタル 特記仕様書24-5-1 単価表16	特記仕様書24-5-1(3)によれば、高流動コンクリート打設時にφ50mmの工ア抜きストレーナー管を配置するとなっていますが、打設後のストレーナー管内の充填も単価表16コンクリート（高流動コンクリート）に含まれるのでしょうか。また、充填材はモルタルでよろしいのでしょうか。ご教示願います。	設計図面（93/105）に示すとおり、打設後のストレーナー管内の充填は、単価表17コンクリート（高流動モルタル）に含まれます。また、充填材は高流動モルタルです。

## 質問書に対する回答

件名) 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
6	支障物確認工 特記仕様書24-31 閲覧資料 (数量計算書)	特記仕様書24-31によれば、撤去箇所④-1は、埋設ケーブルまでは人力掘削、埋設ケーブル以深は機械掘削、撤去箇所④-2は、機械掘削となっていますが、第3編 その他数量計算書3-67によると撤去箇所④-1及び④-2とも人力掘削となっています。人力掘削のGL等詳細をご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
7	埋設物撤去工 地中連続壁C 特記仕様書24-26 閲覧資料 (数量計算書) 単価表178	第2編 発進立坑函体工 数量計算書 4章雑工 2-4-31に示されている撤去箇所⑪の土留め壁材長が15.95mとなっていますが、正しくは18.40mではないでしょうか。(2-4-28では18.40mとなっています)これに伴い、撤去箇所⑪のソイル撤去数量は131.192m <sup>3</sup> となるのではないですか。ご教示願います。	契約図書の設計図、単価表を正としてください。
8	埋設物撤去工 地中連続壁A1・A2 H鋼杭A グランドアンカー工A 特記仕様書24-26 単価表175、176、179、181	特記仕様書24-26に示されている購入砂は、山砂と考えて良いでしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。
9	シールド掘削発生土処理工 特記仕様番24-19-9 特記仕様書20-2 単価表139	特記仕様書20-2に示されている処理施設より、シールド掘削発生残土は汚泥(健全土)と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。
10	建設廃棄物処理工 特記仕様書24-32 特記仕様書20-2 単価表198	特記仕様書20-2に示されている処理施設より、地中連続壁工他より発生した汚土処理は汚泥(健全土)と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりお考えください。
11	仮設ヤード整備費 捨土掘削(土砂) 割掛対象表参考内訳書 閲覧資料 (数量計算書)	割掛対象表参考内訳書の仮設ヤード整備費の捨土掘削(土砂)は2,014m <sup>3</sup> となっていますが、第3編 その他数量 数量計算書3-3に示されている算出式から考えて $(1963.6+201.2) \times 0.250 = 541.2\text{m}^3$ が正しいのではないですか。ご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
12	薬液注入工A 設計図面 (発進立坑図) 閲覧資料 (数量計算書) 単価表113	設計図面 (発進立坑図) 148/181、149/181に示されている薬液注入工の範囲・数量と、第2編 発進立坑函体工 数量計算書 3章仮設工 2-3-121、2-3-123に示されている範囲・数量が異なります。単価表の数量から判断して数量計算書が正しいのではないですか。ご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。

## 質問書に対する回答

件名) 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
13	構造物撤去工 発進側棟壁、到達側棟壁、 発進立坑框梁 特紀仕様書24-27 閲覧資料（数量計算書） 単価表184、185、186	特記仕様書24-27によれば、撤去時における工事により発生する濁水は集水のみとなっていますが、濁水の汚泥処理費については、別途協議と考えて良いでしょうか。（数量計算書によれば、到達側のみ汚泥数量が示されています） ご教示願います。	そのとおりお考えください。
14	構造物撤去工 発進立坑框梁 設計図面（発進立坑図） 閲覧資料（数量計算書） 単価表186	設計図面（発進立坑図）166/181及び発進立坑函体工 第2編 数量計算書2-2-2-75によれば足場支保工335空m <sup>3</sup> が示されていますが、割掛対照表参考内訳書には框梁撤去時ににおける支保工が計上されていません。ご教示願います。	割掛対照表参考内訳書に関する質問は受け付けておりません。
15	土留工 支保工存置A 設計図面（発進立坑図） 単価表76	設計図面（発進立坑図）131/181に示されている鉛直補強材(H-900*300*16*28) L=3.1mはリース材となっていますが、購入材ではないでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書24-12-6 土留工 支保工存置Aに記載のとおり、賃料（リース材）です。
16	埋戻し工 埋戻しA 設計図面（発進立坑図） 単価表115	設計図面（発進立坑図）144/181、145/181に示されている埋戻しAの土質区分は土砂Bと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	設計図面（発進立坑図）144/181に示すとおり、埋戻しAの土質区分は土砂Bとお考えください。
17	グランドアンカー工 設計図面（発進立坑図） 閲覧資料（詳細設計）	設計図面（発進立坑図）115～118/181にグランドアンカー工が計画されていますが、閲覧資料（Bランプ立坑詳細設計）に記載のある中間杭近接箇所においては、小型削孔機の施工が単価の中に含まれているのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき、お考えください。
18	シールド掘進工 設計図面（到達立坑図） 単価表133	設計図面（到達立坑図）5/18にシールドマシンと到達側棟壁の間に取壊しコンクリート工（人力取壊し）が示されていますが、この取壊しコンクリート工は、シールド掘進工Dに含まれているのでしょうか。ご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
19	避難通路工 コンクリートA1-3 設計図面（独立避難通路工・避難階段工図） 単価表154	設計図面（独立避難通路工・避難階段工図）6/221、17/221において開削区間（B73～B75）の側壁上層が既設スラブに接触する形状となっており、普通コンクリートの打設は不可能と思われます。高流動コンクリート等の代用が考えられますが、別途協議事項と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	設計図書のとおりお考えください。
20	避難階段室構築 設計図面（独立避難通路工・避難階段工図）	設計図面（独立避難通路工・避難階段工図）166/221、171/221において階段室壁と立坑中床版の接続部にあと施工アンカーが計画されていますが、ウォータージェット等における打継目処理が必要と思われますが、別途協議事項と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	打継目処理は、コンクリート施工管理要領5-2に基づき、必要な費用を計上してください。 なお、ウォータージェット等による打継目処理について、監督員が必要と認めた場合は、別途協議となります。